

2年生の皆さんへ、英語学習の方法のヒント、第2回です。前は「音声トレーニングの方法と効果について」でしたが、今日は「英文を速く正確に読むためのコツ」についてお話しします。

昨年一年間、POLESTAR English Communication I で様々な話題についての英文を読みました。英文を読む際に、意味のまとまりごとにスラッシュ（/）を入れましたね。授業では CD や先生の読む英語を聞いて本文に書き込んでいたと思いますが、自分でできるようになっていますか？意味のまとまりを見抜くことは、日本語と文構造の異なる英語を理解する上で不可欠です。そこで今回は、スラッシュの入れ方についてもう一度復習しましょう。

「GTEC スキル UP ワーク」の15ページに「英文を速く正確に読むためのコツ！」があります。もう、テキストを処分してしまった人がいるかもしれませんので、念のため PDF ファイルにしておきましたので参照してください。基本的に Point ①～⑤

のルールで意味が区切れます。Check! の例文は、ごく簡単な英文で、最小の単位で区切られているので、2年生ではもっと長めに区切ってもいいですね。このルールに従って、POLESTAR I または Front Runner 1 か 2 の任意のレッスンでスラッシュを入れて読んでみてください。（POLESTAR は授業のフレーズリーディングのプリント、Front Runner は解答・解説プリント Step 1 で確認しましょう。）このスラッシュが正確に、長めに入れられるようになると、速く正確に読むことができるようになります。

英文を黙読するときは自分の理解のため、音読するときは聞いている人が理解できるように、この意味のまとまりを意識して読むようにしましょう。

